

北杜

2011
Vol. 25

議会だより

ほくと遊びの森

自然を使って子どもたちが
やりたいことに挑戦!

市や帝京学園短期大学と連携して市民のボランティアグループが「ほくと遊びの森」を運営

12月定例会



議案と審議	P2～3
市長の所信表明・第2回臨時会	P4
委員会レポート	P5
会派代表質問（5会派）	P6～14
一般質問に8人	P15～17
視察研修	P18
【声のひろば】4人	P19
北杜市ウォッチング	P20

12月定例会は、12月7日から24日までの18日間の会期で開催し、市長提出の平成21年度一般会計補正予算（第5号）をはじめとする補正予算11件、条例の改正・廃止9件、その他42件、同意7件の計69件を審議し、原案のとおり可決・同意しました。

また、請願2件を採択し、議員発議による意見書2件を可決しました。

理者を決定

一般会計補正予算（第5号）

2億5,271万円を増額
＝予算総額293億5,829万円に＝

一般会計補正

おもな財源 (単位：万円)

国庫支出金	8,660
市債	8,030
県支出金	3,186
地方交付税	3,139
分担金・負担金	1,300
諸収入	954

おもな使いみち

(単位：万円)

子宮頸がん予防ワクチン接種への追加助成	540	小6・中3女子の接種者を対象
県営土地改良事業	2,720	地域ため池等整備
産業立地事業助成金	6,000	市内に立地・操業した製造業者等への助成金
道路整備	1億 330	市道52号線、市道仁田平小倉線
長坂統合小学校建設事業	3,023	実施設計、仮設校舎建設監理

特別会計補正

(単位：万円)

国民健康保険	△384
介護保険	△24
居宅介護支援	61
簡易水道	567
下水道	1,706
甲陵中・高等学校	△753
辺見診療所	94
白州診療所	980
大泉財産区	264

同意

▼教育委員会委員

坂本 仁（高根町）
坂本 妙子（白州町）

▼公平委員会委員

小澤 昭男（長坂町）

▼監査委員

入江 薫（長坂町）

▼固定資産評価審査委員会委員

細川富士夫（須玉町）
浅川富士夫（大泉町）
向井 睦尚（白州町）

請願

▼教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願

請願者

北杜市PTA連合会 会長
北巨摩公立小中学校長会 会長
北巨摩公立小中学校教頭会 会長
県教職員組合北巨摩支部 執行委員長
紹介議員 相吉 正一 篠原 眞清 中村 隆一

▼容器包装の発生抑制と再使用を促進するための請願

請願者

生活クラブ生活協同組合 理事長
紹介議員 中野 裕子 坂本多枝子

53施設の指定管

指定管理者の指定

53の公の施設の指定管理
理者の指定について可決

直営から指定管理と
なった施設

▼北の杜聖苑
(株)宮本工業所

▼オオムラサキセンター
NPO法人 自然とオ
オムラサキに親しむ会

変更になった施設

▼須玉町農林水産物直売
食材供給施設
(おいしい市場)
(株)アルプス

おもな質疑

■須玉町農林水産物直売・
食材供給施設(おいしい
市場)について

・選定結果通知後、現在の
指定管理者から異議申
し立てがあったか。また
生産者組合からの聞き取
り調査等を行ったのか。

・指定管理者の変更によ
る生産者の不安に対して、
市として助言できるのか。

・審査結果が拮抗してい
る場合などの対応につい
て、一考する必要はない
か。

・指定管理者の変更によ
る今後の経営の見直しに
ついて検討を行ったのか。

・従業員の雇用について、
行政としての指導等の考
えは。

・選定委員のそれぞれの
立場による審査への影響
はあったか。

■体育施設の使用料につ
いて

・使用料値上げによる収
入増加分をどのように把
握し、指定管理料に反映
させるのか。

■白州総合運動場について

・管理経費の増加による
指定管理料の増額につい
ての詳細を。

意見書

▼教育予算を拡充し、教育の機会均
等及び水準の維持向上を図るための
意見書

提出議員 相吉 正一
賛成議員 篠原 眞清
千野 秀一 中村 隆一
小尾 直知

▼容器包装の発生抑制と再使用を促
進するための意見書

提出議員 渡邊 英子
賛成議員 風間 利子
相吉 正一 小須田 稔
中嶋 新 篠原 眞清
秋山 九一

動議

保坂多枝子議員の議会運営委員会委員の辞職勧告決議

▼提出者 千野秀一
▼提案理由

保坂多枝子議員は、11月30日に開催された臨時会、全員協議会、議会運
営委員会、ならびに12月2日の議会運営委員会、全員協議会を財産区の研
修のため欠席しました。

議長および議会運営委員長への11月30日欠席報告の際、本会議を優先す
べきと指導を受けたにもかかわらず、財産区の研修を優先させたことは、
議員ならびに議会運営委員会としての自覚と責務の放棄、危機管理の欠如は
明白であります。

反対討論要旨

・常識的に考えて思慮が足りなかつ
たことを深く反省し、全議員に迷
惑等をかけ心から陳謝している。
・判断の間違いをしっかりと認め
て反省し、明確に自分の意思を示
し陳謝している。
・公務の在り方に慎重であるべき
だったと反省し、今後、議会活動
にまい進することを宣言している。

賛成討論要旨

・議員として最も重要な議決権の
放棄と紹介議員である請願の受理
確認を怠ったことは無責任である。
・基本的な判断力、危機管理能力
の欠如が明らかで議会に身をおく
者として失意を抱かざるを得ない。
・報告、連絡、確認を行わず、会
議に途中からも出席しなかったこ
とは、常識を逸脱した対応である。
※賛成9、反対10で否決



市長の所信表明

北杜を思うご寄附に感謝し さらに活性化を!!

市政の状況

国では事業仕分けの第3弾「再仕分け」が行われ、「観光圏整備事業」など本市にも関わるいくつかの事業が見直されることになりました。国民が安心して暮らせる社会の早期実現、政治の信頼回復を期待しています。

1 防災無線整備

高根・長坂地区から着手し、5年後には、市内全域を統一仕様のデジタル無線化の予定です。

2 産学官協働連携

中日本高速道路(株)、早稲田大学および北杜市の3者による環境美化や地域活性化研究などが進められています。

3 第2次行政改革大綱

策定に当たり、大学関係者などの有識者による「北杜市行政改革推進委員会」で審議後、答申をいただきました。

4 お産の場の確保

昨年8月に北杜市お産の場づくり検討委員会を立ち上げ、積極的な検討を重ねていただいています。

5 指定管理者の更新

7回の指定管理者候補者選定委員会を開催後、来年度からの53施設40件の指定管理者の指定について、議案を提出させていただきます。

6 国民健康保険税の見直し

現在、国保運営協議会で検討していただいております。来年度から新たな税率での運営を考えています。

7 保育園充実プラン

「保育園の適正規模・適正配置」「機能強化」「保育の質の確保・向上」「保育料の適正化」を4本柱に施策を推進し、充実した保育園運営の実現に向け努力します。

8 小淵沢駅舎改築・駅前広場整備

11月に小淵沢駅舎・駅前広場基本構想策定業務委託を発注、今後は、市民協議会を立ち上げ、広く意見を伺いながら検討し、3月に基本構想の策定を図ります。

9 仮称 長坂統合小学校建設

アンケート回答結果を踏まえ、保護者の代表の方々に説明を行いました。児童のことを第一に考えた小学校の完成を目指していきます。

10 武川総合支所

建設後、約50年が経過しており、武川保健センターへの移転が最善であると判断し、23年秋を目標に移転を考えています。

第2回臨時会

11月30日

条例改正2件、契約1件、報告1件、議員発議による条例改正1件について審議し、原案のとおり可決しました。

▼市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部改正

人事院勧告に基づき、市長、副市長、教育長及び職員の期末手当等の改正。

■議員発議

▼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

社会情勢および人事院勧告を考慮し、市議会議員の期末手当を減額。

▼公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正

事業報告書提出期限を、実態に即した期限に改めるもの。

■報告

去る9月28日本会議での議会改革特別委員会の設置を求める件については、11月15日に全員協議会を開催し、協議を行いました。

■契約

▼防災行政無線(デジタル同報系)施設整備工事

・契約方法
一般競争入札

・契約金額
5億1344万円

・契約相手方
沖電気・協和エクシオ・カナマル特定建設工事共同企業体

しかし、その質疑の過程において説明不足が指摘され、全員の合意が得られなかったため、提案者自らが取り下げを行い、今後、議会改革について、全議員で議論を深めていくこととしました。

委員会レポート

審議の
あらまし

経済環境

常任委員会

総務

常任委員会

文教厚生

常任委員会

付託された条例改正2件について審査し、原案のとおり可決した。

おもな質疑答弁は次のとおり。

■職員の勤務時間 休暇等に関する条例の一部改正

■消防団員の任命、給与、服務等に関する条例の一部改正

一部改正

問 副団長を4人に増員した根拠は。また、今回の改正で、報酬総額の増減はどのくらいか。

答 北杜市は面積が広い。ため、土地勘のある1人の副団長が2町のエリアを担当し、有事の際に速やかな対応をするため。報酬額は全体で13万7500円の増加。
※以上2件は、全員賛成で可決

付託された条例改正3件、条例廃止1件を審査し、原案のとおり可決した。

おもな質疑答弁は次のとおり。

■病院事業の設置に関する条例の一部改正

問 脳神経外科の設備関係は整っているのか。

答 係は整っている。内科的にはそろっており、MRIも今年度更新している。

■長坂共同福祉施設条例の一部改正

問 現在の利用状況は。

答 貸館は、19年度に30000円の利用収入があった。つどいの広場事業は、1日平均15・8組、約30人の利用。

■体育施設条例の一部改正
問 多目的運動場の利用形態は。

答 フットサル、高齢者のゲートボール、グラウンドゴルフ、子どもたちの運動場など。

■小淵沢観音平グリーンロッジ条例の廃止

問 廃止に対し、反対の声はなかったか。

答 地域に説明を行っており、反対の声はなかった。手続きに齟齬があったが、安全面、防災面等を考慮してのことであり、ご理解願いたい。

※以上4件は、全員賛成で可決



つどいの広場(ひよこルーム)

付託された条例改正1件、条例廃止2件、市道路線廃止・認定2件、請願1件について審査し、原案のとおり可決した。

おもな質疑答弁は次のとおり。

■農業集落排水事業分担金徴収条例及び農業集落排水処理施設条例の一部改正

問 白州横手地区の計画規模は。

答 概算総事業費は6億6000万円。対象戸数は161戸。

■須玉町特産品加工施設条例の廃止

問 施設の利用状況の把握は。

答 利用簿をつけてもらっている。今後も地域と話をし、大いに活用していくよう指導したい。

■市道路線の廃止
■市道路線の認定
問 廃止・認定の公示方法は。
答 本庁・支所の窓口にて明確に示したい。
※以上5件は、全員賛成で可決



横手地区污水处理施設

■風林火山館条例の廃止
問 風林火山館の収支状況は。

答 概算で収入が2億円、支出が2億5000万円、約50000万円の赤字。手続きに齟齬があったが、施設の有効利用等を考慮してのことであり、ご理解願いたい。

● 常任委員会の構成について ●

総務・文教厚生・経済環境常任委員会は12月1日で任期満了を迎えましたが、新たな構成について、希望者の調整がつかないため、現在協議中です。

よって、新構成が決定するまでは、現委員が在任となります。

なお、議会運営委員会、広報編集委員会、各組合議会の構成についても、常任委員会の新構成が整い次第決定する予定です。

公明党



新たな行財政改革

への取り組みは

小尾 直知

問 行財政改革プラン策定から5年、新たなプランの策定が急がれる。

- ①経営改革プラン5年間の総括は。
- ②人・物・金・情報の経営資源を有効に活用しているか。
- ③行政力の強化は人材育成にある。市の戦略は。

答 合併時より市債
100億円減少

市長 ①プラン達成率は70%。合併時より市債残高100億円減少、基金積み立て67億円などを達成。

③各種研修への参加、自己啓発で能力向上や意識改革の徹底など、積極的に取り組んでいる。

企画部長 ②広報紙・HP掲載や情報公開をしている。

問 TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）は

TPPが市内の一次産業に与える影響と、市の見解は。

答 国内農業は壊滅的打撃を受ける

市長 関税撤廃は市農業・農村環境に影響し、意欲減退や耕作放棄地増大につながる。情報収集に努め対応する。

問 緊急経済対策
補正予算の対応は

- ①雇用、人材育成の対応は。
- ②新成長戦略推進に対する対応は。
- ③子育て・医療・介護・福祉等、安心確保の対応は。

④地域活性化、社会資本整備、中小企業対策は。

答 国の経済対策に
呼応し迅速に対応

- 企画部長** ①新卒者・若年者支援の強化、雇用創造・人材育成を推進し、雇用創出事業を継続する。
- ②環境・エネルギー・健康分野などの施策を用意。
- ③子ども基金の積み増し、妊婦検診公費助成継続など。
- ④道路関係予算を計上、地域活性化交付金の創設など。地方交付税増額は、2億3500万円余が増額決定。

問 税金および
公共料金の収納は

- ①収納課設置の効果は。
- ②コンビニ収納の効果は。
- ③税金・上下水道料金を含む公共料金滞納対応策は。

答 納税者の利便性
向上を図っている

市長 ①市税徴収率0・6%増、滞納繰越分3・5%増など、実績を上げている。差押え徴収金額は約2100万円。

総務部長 ②市税・国保税の利用件数2万3200件、上下水道料金4876件など、滞納繰り越し分

も利用率が高い。

③滞納者には、相談の上対応する。応じない滞納者には、滞納処分を執行している。

問 JR小淵沢駅舎・
周辺整備は

- ①JRとの協議の進捗状況は。
- ②関係諸団体との協議は。
- ③構想は市の玄関として何を基調とするのか。

答 高原にマッチした駅を
イメージにしたい

市長 ①6回の協議を開催。基本構想策定と合わせ、細部についてJRと協議を進める。

③市唯一の特急停車駅で、観光客誘致の起点だ。市の顔として、人が集い、利用しやすい高原の駅を考える。

建設部長 ②市民協議会は地域委員会代表者や、区長会、観光協会、商工会代表などの意見を伺っている。



大胆な改革を

日本共産党



中村 隆一

農業と地域を壊滅させる TPPに断固反対

問 11月9日、政府は環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加問題について、協議開始の基本方針を閣議決定した。関税の完全撤廃を迫られ、日本農業は壊滅的打撃を受けることになると、怒りと抗議の声が全国で上がっている。

① TPP交渉への協議開始の撤回を政府に求めている。
② TPPに参加した場合、北杜市の農業生産額の減少の試算は、

答 米作と酪農への影響を懸念

市長 ① 県や全国市長会と連携し、

動向を見極め慎重に対応したい。

産業観光部長 ② 市農業への影響は、関税率の高い米作と酪農を中心に大きいと想定している。具体的な減少額の算定は難しいが、外国産の米は国産米の約4分の1の価格であり、9割が外国産に置き換わると想定される。生乳は約2分の1の価格の外国産に、2割が置き換わるとの試算もある。

問 「図書館適正配置等検討に関する提言」遵守を

① 提言内容を尊重し、8図書館の存続を今後の方針とすべきだが。

② 図書館の運営に市民の参加は。
③ 専門職としての図書館職員の待遇改善は。

答 提言を尊重し
方針を決める

教育長 ① 検討委員会は、8回の審議を重ねて提言をまとめた。内容を尊重し、市としての方針を策定する。

② 多くのボランティアが運営に関わっている。今後も、市民参加、愛される図書館を目指す。
③ 現在、正職員、臨時、アルバイトを含め51人で業務に当たっている。有資格者の臨時職員は、賃金の優遇措置を図り、アルバイトにも相応の対応を取っている。図書館業務は多方面の知識が求められる。図書館業務は多方面の知識が求められ、研修会への参加、勉強会の開催等、質の向上に取り組んでいる。

問 安心して利用できる
介護保険制度を求める

厚生労働省は、要支援者および軽度の介護認定者への給付を見直そうとしている。高齢者と家族から訪問介護を取り上げてはならない。北杜市でも、軽い認定によるサービス削減のケースを聞く。市の見解は。

答 国の動向を
注視して対応

市民部長 第5期介護保険事業計画に向けた、国の検討経過・動向を注視し、事業計画策定委員会で議論する。個別のケースについては、地域包括支援センターやケアマネージャーと十分話し合い対応する。

問 住宅リフォーム
助成制度の創設を

期間限定の経済対策として、住宅の改修や機器更新に対し、市から助成できないか。

答 まず既存制度の
活用を

建設部長 市として、木造住宅の耐震改修への助成、太陽光発電システム設置への助成等を実施している。国の住宅エコポイント制度も含め、既存の制度の活用を積極的に推進していきたい。



図書館の充実を

北杜クラブ



行財政改革と

来年度予算編成は

清水 壽昌

問 ①第2次行政改革大綱策定の基本方針は。

②財政健全化と自主財源確保について、

(イ) 第1次北杜市総合計画(実施計画)の見直しは。

(ロ) 定員適正化第1次計画の検証結果と第2次計画策定にあたっての修正・課題は。

(ハ) ふるさと納税制度の寄付実績、活用事業、PR方法、基金残高は。

(ニ) 県地方税滞納整理推進機構の期間延長の見直しは。

③厳しい財政状況のなかで根本的な機構改革が必要である。本庁舎の位置決定および支所・出張所機能の再検討は。本庁舎建設への資金計画は。

④来年度予算編成に向け、21年度決算にかかわる監査報告書・事業評価結果の生かし方は。

答

スピード感、責任感を持って進める

市長 ①住んでよかったと思うふるさとを目指し、安定した財政基盤の構築と、市民の一体感の醸成を図る。市役所の構造改革、市民との協働を実行する。今後、パブリックコメントを実施し、アクションプランを2月には策定する。

②(ハ) ふるさと納税制度の寄付実績は、20年度が81件464万円、21年度が109件763万円、今

年度は12月16日現在で、129件975万円の申し出がある。県内トップの実績。寄付者は環境保全基金、芸術・文化・スポーツ振興基金、おまかせの3つのメニューから選択でき、翌年度に活用している。県人会、北杜高校東京同窓会への働きかけや、ホームページ、パンフ配布等広報に努めている。

③市役所の位置は、他の官公署との関係など市民の利便性、支所・出張所の統廃合と併せて検討していく。23年度に職員検討会を設置し、24年度には市民も参加した検討委員会を設置する予定。

副市長 ③資金は、基金の積み上げ等をするなかで、市民の皆さんの意見を聴きながら対応していく。

総務部長 ②(ロ) 17年4月の職員876人を、22年度までに65人の削減目標が事務見直し、組織改革の結果、15人上回った。一般行政職は大幅に削減したが、病院職員は増員の必要があった。第2次計画策定に当たっては、定員管理の性格、方向性の異なる病院部門は除外したい。

②(ニ) 滞納整理推進機構は、県と市町村の連携で十分成果を上げている。来年度以降も3年間の継続が決まった。

企画部長 ②(イ) 財政計画に裏づけされた23年度から25年度までの実施計画を年度内に策定の予定。次年度予算との整合性を考え、1年ごとに見直す。

④監査と評価を踏まえ、事業の統廃合、縮小も含めた見直しを行い、23年度予算編成に努める。

⑤年度末に返還が予定されている。今後、使途につき検討する。

問 市の農業支援策は

①TTPに参加した場合、北杜市の農業が被る影響は。市の対応策は。

②販売施設の充実・普及、観光産業との連携、六次産業化への取り組みは。

③北杜市全体を巻き込んだ食育、地産地消の推進を。

④梨北信玄米の生産への支援拡大と堆肥への助成継続を。

⑤育苗施設の充実、拡大を。

⑥22年度産規格外米の食用加工、販売への支援を。また、米粉への取り組みは。

⑦再生産可能な所得保障制度の確立について、政府に働きかけを。

答 体質強化に努める

市長 ①具体的支援策のないまま、関税が撤廃されると、米価下落、所得減少、意欲減退、ひいては耕作放棄の増加に拍車がかかる。国



子どもが本格調理

に抜本対策を求め、市独自の農業支援と体質強化策の充実を図る。

産業観光部長 ②大泉地産地消の会の直売所、パノラマ市場の増設支援を予定。農産物直売所や農業体験施設を核として、観光組織と連携させる。12月3日、農業に六次産業化を促す法律が成立した。市としても、先進的な取り組みには積極的に支援する。

③おはよう朝ごはんコンテスト、旬の野菜作り教室等を開催した。現在、エコひいき地産地消推進店の制度化に向け取り組んでおり、商工会、農協、観光協会、リトリートの杜等の皆さんと推進していきたい。

④市独自の制度である有機堆肥等への助成を継続する。

問 大規模太陽光発電実証研究施設の在り方は

本年度で3年間の「北杜サイト」の実証研究が終了する。

①施設誘致の成果、経済効果は。

②今後の活用方法等について検討委員会の方向性は。

③施設は市に無償譲渡されるのか。

④用地は市が取得するのか。愛称を付けるのか。

⑤小中学校での太陽光発電、六ヶ村堰水力発電所等と共に、グリーン電力証券化する考えは。

⑤年々増加する需要に応えられない。既存施設を効率的に活用し、田植え時期の6月までの延長、硬化ハウスの2サイクル利用の促進等、JA梨北へ営農指導の要請を行う。

⑥22年度新米検査で規格外は現時点で0・58%と、わずかな比率だが、数値が確定した段階で対策を考えたい。米粉については、商工会を中心に新しい商品開発への支援をしていきたい。

⑦補償モデルでは、10a当たり1万5000円の定額支給と、急激な価格低下に対応する差額支給がある。制度の一層の充実を関係機関に要請したい。

答 市が譲り受ける方向

市長 ①マスコミで頻繁に紹介され、21年度末までに5485人、今年度も11月までに、4309人が視察し大きな成果と意義があった。施設が譲渡されると、市の自主財源として売電収入も期待できる。

②次世代エネルギーパークの中核施設として、有効利用できるように、1月までに庁内検討会の結論を出す予定。

③市が譲り受ける方向で進んでいる。2月までに最終結論を得たい。

生活環境部長 ④19年度から20年間、借地契約している。土地買収は困難。愛称については、市全体の施設のネーミングライツ導入と合わせて検討する。

⑤証券・証書化すると、排出ガス削減価値が購入者に移転してしまう。国の全量買取制の検討経過も見極め、慎重に検討する。

問 橋梁長寿命化計画は

①橋梁点検の結果は。

②長寿命化計画の策定状況は。

③策定後の工事実施の方針は。

④長寿命化により、寿命はどのくらい延びるのか、財政的效果は。



長寿命化される橋

答 予防保全的管理へ転換

建設部長 ①19年度から20年度に408橋の点検を実施。緊急の補修等が必要なものが168橋あった。

②適切な修繕を施して長寿命化を図っていく。289橋の補修計画を策定した。

③緊急性の高い橋梁から補修を実施する。

④10年ごとの大きな見直しを行い、できる限り長寿命化を図る。財政効果は169億円くらいを見込んでいる。

問 子育て支援策は

①子育て応援人材バンクの内容は。

②保育指導監を新設するねらいは。



救急救命研修

- ③ファミリーサポートセンター登録者数、利用状況等は。利用料金への補助の考えは。
- ④「につぼん子育て応援団」での応援宣言のねらいは。
- ⑤認定こども園の活用と市の対応は。

答 全国に誇れる

取り組みを目指す

- 市長 ③補助できるように検討する。
- ④取り組みを情報発信するため、著名人も参加する全国的な組織である応援団で宣言した。

福祉部長 ①子育てなどで就労していない有資格者の登録を求め、保育士不足の解消を図る。

②園長級の保育士の本庁勤務を想定。各保育園との連携、質の高い保育提供に努める。

③依頼会員102人、協力会員61

人。10月5件、11月10件の利用。

⑤保育園に幼稚園機能を持たせ保育・教育・子育て支援を検討すると共に、保育料、所管課、保育士等について検討していく。

問 国民文化祭は

- ①第28回国民文化祭やまなしの実施時期、県と市町村の役割分担は。
- ②北杜市が会場となる予定事業は。
- ③スケジュール、準備、職員体制は。
- ④市内の名所、景勝地等を熟知する関係団体職員、一般人への協力要請は。

答 通年開催が特徴

教育長

①25年に全国で初めて1月から11月迄の通年で開催。総合フェスティバルと季節ごとに開催のシンポジウムは県が主催、分野別フェスティバルは市町村が主催する。

②少年少女の合唱祭、方言川柳、囲碁サミット、市内の見どころ巡りを検討している。

③23年度に実行委員会等の設立、先催県の京都視察、24年度に出演交渉等、25年度に会場準備等を予定。職員体制については充実した職員配置等で対応したい。

④実行委員会等へ参画していただき、ご協力をお願いしたい。

明政クラブ

平成23年度 予算編成方針は



渡邊 陽一

問 一昨年の世界的な景気低迷から、わが国の経済はわずかに回復の兆しを見せたものの、急激な円高は景気を低迷させ、高い失業率、長引く新卒者の就職率の低下など、依然として雇用情勢も深刻な状態が続いている。

景気低迷は、地域間格差を拡大し、国・地方の財政は、当該年度の歳入だけでは財源を賄うことができず、財源不足を補うため負債残高が増加し、異常な事態を招いている。

現在、国や県と平行して、市町村の予算編成が進んでいるが、政局の不安定、法人税の5%減税決定等による、財源確保の見通しの不透明さが懸念される。

①厳しい財政運営を余儀なくされ

る状況下、予算編成に当たっての市の基本的な考えは。

②財政健全化計画をどのように反映させるのか。市長の見解は。

答 事業の選択と集中を図る

市長

①昨年度に引き続き、公共事業費や経常経費等のマイナスシーリングを設定し、今後の交付税縮減に備えた予算規模の縮小を目指すとともに、事業の選択と集中を図り、長坂統合小学校の建設や福祉関係経費等の義務的経費の自然増に備え、市の総合計画の着実な推進を図っていく。

国や県の補助負担金等の動向については、速やかに情報収集し、適時・適切に対応し、市債残高削



減にも積極的に取り組む。
②予想される厳しい財政状況に対処するため、昨年6月に財政健全化計画を策定した。

当初予算編成時に、行財政改革アクションプランを基本とした数値目標を設定し、適切な財政運営を図っていく。

今回の第2次行政改革大綱・アクションプランでは、公共事業費や市単独補助事業縮減の数値目標を示し、現在、予算編成に取り組んでいる。

問 第2次行政改革大綱(案)は

第1次行政改革大綱は、18年3月に財政健全化、施策の再構築と市民との協働、市役所の構造改革とスリム化を基本目標として作成された。5年間にわたり、公共工事の縮減、職員数の削減、指定管理制度の導入など110項目のアクションプランに取り組み、7割を達成し3割が未達成だった。

第1次行政改革大綱の反省点を踏まえ、今回答申された第2次行政改革大綱(案)における重点課題は何か。答申に対する市の基本的な認識は。

答 起債許可団体からの脱却を図る

企画部長 第1次行財政改革アクションプランの取り組みで未達成なのは、健全な市財政の確立、市税等の収納率向上と負担の公平化実現、市民との協働による事業の展開と情報の共有化、事務事業の根本的見直しと民営化・民間委託の推進、新たな経営改革の研究と活力ある組織づくりの推進の5項目であり、これが重点課題だ。

「健全な市財政の確立」では、健全化の指標である実質公債費比率18%未満を達成し、県内で本市だけになっている起債許可団体からの脱却を図る。

「市税等の収納率向上と負担の公平化実現」では、収納率向上に努める。

「市民との協働による事業の展開と情報の共有化」では、市民との協力関係の構築と広報・広聴機能の強化を行う。

「事務事業の根本的見直しと民営化・民間委託の推進」では、事業仕分けの実施や類似施設等の整理統合の検討を行う。

「新たな経営改革の研究と活力ある組織づくりの推進」では、市役所本庁舎の位置決定と、総合支所・出張所の在り方を検討する。

問 下水道整備事業の現状と今後は

市の下水道整備事業は、昭和50年代から始まり30年余りが経過しつつある。

21年度決算における下水道整備事業の負債残高は、公共下水道と農業集落排水の合計で35.1億円。これは市の起債残高の約38%にあたり、毎年20億円余の返済が会計を圧迫し、一般会計から多額の繰出金を余儀なくされている。

新聞報道によれば、全国の下水道事業の債務残高は31兆円に達し

ており、料金収入だけで賄える団体は1割程度しかないと報じられている。

北杜市のように広大な面積の中、集落が点在している地域での下水道の布設には、多額の費用がかかる。生活環境の向上や水質保全に下水道整備は不可欠だが、合併浄化槽への転換も必要ではないのか。

①下水道整備の進捗状況は。
②今後の整備計画は。
③下水道への接続状況と普及対策は。
④下水道整備事業エリア以外の対応策は。



体育施設



〔答〕 施設の長寿命化と
接続率アップに努める

市長 ②21年度に見直しを加えた計画に基づき、処理区域の組み替え、編入などの効率的な整備を進める。同時に、事業費負担の軽減を図るため、事業実施期間の延伸の検討、老朽化施設の長寿命化のための改修計画の策定にも取り組んでいる。

農業集落排水事業は、白州町横手地区が23年4月の供用開始で補助事業は終了し、23年度は、単独事業の横手地区マンホールポンプ設置と、長坂小泉南部地区の管渠布設を最後に完了する。

今後は、処理場施設等の老朽化の状態で、機能強化調査を実施し延命化に努める。

生活環境部長

①21年度末の進捗率は91・5％。本年度は、大泉町の大泉浄化センター増設と管渠布設、小淵沢町と武川町の管渠布設と舗装復旧工事を実施している。

③接続率は公共下水道が20年度74・5％、21年度76・9％。農業集落排水が20年度74・3％、21年度76・7％。広報等で啓蒙・周知を図っているが、今後は工事指定店やNPOを活用しながら個別訪問を実施し、加入促進に努める。

④エリア以外には、合併浄化槽補

助金整備事業で補助金を交付している。実績は20年度が168基、21年度が169基、本年度は159基が設置されている。

〔問〕 指定管理者制度の
状況は

18年に指定管理者制度が導入され5年が経過した。今回67施設が初めて更新期限を迎える。

①更新時期を迎え問題点はないか。
②管理運営に課題がある施設への指導は。

③直営時と比較して、経費縮減は図られているのか。

④温泉施設の利用状況は。将来統廃合はあるのか。

⑤道の駅、地産地消施設の連携は。

〔答〕 業務評価、実地指導で
問題点を改善

市長

①指定管理者制度は、公共施設の適正かつ効率的運用を目的とし、民間活力の導入、サービス向上、経費削減を図ろうとしており、96協定、136施設で採用している。今年度、67施設が協定期限を迎える。制度の趣旨に添って検討した結果、10施設は直営で管理することに決定した。

北の杜聖苑とオオムラサキセンターについては、新たに指定管理者制度を導入することとし、59施設について業者の選定を行う予定。



地元の野菜がいっぱい

③23年度の協定見込み額と直営時の比較をすると、約2億9000万円の経費節減になっている。

企画部長

②年度の業務終了後、指定管理担当と施設の所管課による15項目の評価を行っている。指定管理者に通知するとともに、結果は市のホームページで公表している。未達成項目のある指定管理者には、業務改善報告書の提出を求め、今年度からは、実地確認し指導している。

④21年度の温泉施設の利用状況は、12施設で123万8000人。今後の利用見込み、施設の老朽化による修繕費の見積もり等、統廃合について検討すべき時期にきていると受け止めている。第2次行政改革大綱(案)においても、民営化等の検討が指摘されている。

産業観光部長

⑤市内の農産物を取り扱う直売所は、それぞれ地域の生産者組織があり、会員にならないと出荷できない。

施設の活性化を図るためには、地域の壁を取り払い、市民であれば誰もが加入できる組織であり、農産物の品数を豊富にし、消費者目線に立った販売を展開することが望ましい。直売所等の代表者の連絡会を組織し、情報交換を行う中で、協力体制を整えたい。

市民フォーラム



野中真理子

第2次行政改革大綱は

問 ①大綱策定のスケジュールと議会の意見を聞く考えは。

②第1次大綱の成果と課題を市民に示し、協力を求めるべきだが。

③財政健全化や事務事業の見直しで、重点的に取り組む項目は。

④市役所の構造改革とスリム化は。

⑤事業仕分けは、もともと「構想日本」という団体が提唱し、国や他の地方自治体もそのメンバーを入れ、確立された手法で行っているものだ。市の方法とメンバーは。

⑥「黒澤明生誕100年祭IN北杜市」の事業評価は。

⑦電子入札試行の効果と評価は。

答 優先順位を付け改革に取り組む

市長 ①2月には策定し、予算や人事に反映させる。取り組み項目・指標等は議会の審議もいただく。

企画部長 ②来年度、成果を示す。

③実質公債費比率18%未満の達成事業仕分けの実施等。

④本庁舎の位置と支所の在り方等市民を交えての検討会を設置。

⑤甲府・都留市の事例を参考に、これから方法とメンバーを決める。

⑦5件の電子入札を実施。効率化が好評、対象工事の拡大を図りたい。

問 情報公開は

産業観光部長 ⑥負担額約1000万円です。市の知名度アップに貢献。

①情報公開は、市民との信頼関係の出発点。寄せられた意見等は。

②条例に開示の決定期限は14日以内と規定されているが、請求者の手元に資料が渡る実日数は。

③開示請求の要・不要の基準は。

④公文書非公開の最終判断は。

⑤県は公開し、公共工事の検証にも必要な設計価格が非公開だが。

答 開かれた市政を目指す

市長 ①本年度意見等は特にならない。

総務部長 ②本年度の請求44件は、期限内に決定通知を発送した。

③予算・決算の概要、入札結果、広く公開すべき各種計画等は、ホームページや広報に掲載。それ以外は、開示請求が必要。

④条例に基づき、各部署で精査し、権利侵害や事業の遂行に支障を及ぼすものは非公開。

企画部長 ⑤県内他市も非公開。

問 子育て支援は

①育休の取りやすい環境づくりは。

②学校から遠い、スクールバス集

行政改革の舞台 北杜市役所



答 多面的に施策を推進

合場所付近等の安全対策は。

③児童虐待は国民すべてに通告義務があるが、周知は。

④若年層のはしか予防ワクチン接種率について、市の現状は。

⑤小児医療の充実と市の展望は。

市長 ①職場環境づくりを進める。

⑤市立病院の常勤医確保は厳しい。

教育長 ②早期に対応を依頼。

福祉部長 ③昨年度の通告は14件。広報等に通告義務の記事を掲載。



市民部長 ④接種率は県平均を上回り、中1で85・6％。

問 学校統廃合に伴う問題は

①既存の学校施設の検証と評価を行い、今後に活用すべきだが。
②閉校する学校、生徒への支援は、
③1クラスの小人数化を図る国・県の方針による、市への影響は。
④閉校する学校の跡地利用と設置した太陽光パネルの有効活用は。



閉校に伴うサポートを！
増富小学校

答 閉校する学校にも配慮

教育長 ①暖房効果や維持管理コストについて検討中。

②授業等に支障のない体制づくりや長距離通学児童への支援を検討。
③学級増が一部で見込まれるが、既存の「計画」の見直しは必要ない。
④跡地利用は地域住民等と相談し、太陽光パネル活用も合わせ考える。

問 8図書館の存続は

①検討委員会は全会一致で8図書館の存続を提言した。市の考えは。
②ボランティア活動充実のために市の果たす役割は。
③「子ども読書活動推進計画」は。
④図書館司書の専門性の認識は。
⑤生涯学習課と図書館の連携は。

答 検討委員会の提言を尊重

教育長 ①提言の内容を尊重し、23年3月までに市の方針を決める。
②広報等のPR活動を進める。
③健診時のブックスタート等「計画」の目的に沿った事業を実施。
④司書資格者に相応の優遇措置。
⑤生涯学習に図書館が果たしてきた役割を認識している。

議会のうけ

10月

1日(金) 正副議長・正副議会運営委員長会議
12日(火) 広報編集委員会
14日(木) 県市議会議長会定期総会
15日(金) 広報編集委員会
19日(火) 広報編集委員会
20日(水)～22日(金) 全国市議会議長会研究フォーラム
25日(月) 広報編集委員会
26日(火) 峡北広域行政事務組合議会全員協議会・本会議
29日(金) 県後期高齢者医療連合組合議会

11月

4日(木) 正副議長・正副議会運営委員長会議、議会運営委員会
15日(月) 全員協議会
22日(月) 全員協議会
30日(火) 第2回臨時会、議会運営委員会

12月

2日(木) 議会運営委員会、全員協議会
3日(金) 全員協議会
6日(月) 全員協議会
7日(火)～24日(金) 第4回定例会
22日(水) 広報編集委員会

12月定例会日程

12月7日(火)
・本会議 市長所信表明
議案説明 議案審議
9日(木)
・議会運営委員会
10日(金)
・全員協議会
13日(月)
・全員協議会
14日(火)
・総務常任委員会
・全員協議会
・議会運営委員会
15日(水)
・文教厚生常任委員会
16日(木)
・経済環境常任委員会
21日(火)
・本会議 代表質問
22日(水)
・本会議 一般質問
・全員協議会
・議会運営委員会
24日(金)
・本会議 議案審議

漏水検知システムの異常検知は



篠原 眞清
(市民フォーラム)

問 ①事故の詳細報告と原因究明に対する見解は、
②地下水汚染のモニタリング観測井戸の連続測定結果が、定時測定数値と大きく違う。安全管理委員会に専門家を招致する考えは。
③操業開始後の短期間に事故が続発した。徹底した原因究明と安全性確保に、強いメッセージを。

徹底した原因究明を求める

市長 ①山梨県環境整備センターの漏水検知システム異常については、地元市民の不安の払しょく、施設の安全確保、再発防止のために、速やかに徹底した原因究明がされることを望んでいる。
③異常検知の原因究明、



シート破損調査が始まる処分場

再発防止、掘削はアスベスト粉塵の飛散防止の徹底など、十分な措置を講ずる等、市の意見もしつかり述べていきたい。
生活環境部長 ②安全管理委員会設置要領で、「委員長は必要と認めるとき、委員以外のものを会議に出席させ、説明・意見を述べさせることができる」と規定されている。市としてもそのような措置を取っていただく必要を感じている。

「お産の場づくり」検討委員会は



風間 利子
(無会派)

問 「お産の場検討委員会」を立ち上げたが、
①進捗状況は。
②答申はいつまでに。
③市の年間出生は270人前後、お産の状況は。
④産科医設置の5000人の署名が出されたが。

医師確保は広域的に検討

市長 ④単独の産科医設置は非常に難しい。他市町村とも連携し、広域的に検討する必要がある。
市民部長 ①4回委員会を開催、実態の把握と方向性の検討・先進地視察研修も行った。
②23年度までに提言をいただく。
③18年度から20年度の出産775件の状況は、帝王切開90件、吸引分娩21



解消したい渋滞

件、鉗子分娩5件。
県道横手日野春停車場線は
問 武川から須玉に抜ける県道612号線と、141号交差点の渋滞が激しい。県工事の状況把握は。
早期実現を要望する
建設部長 地元関係者の協力も得て、当初の直進案も含め、早期実現を県に要望していく。

観光振興について



利根川 昇
(北杜クラブ)

滞在型観光への移行を目指す

市長 ①観光圏認定以降、ツーリズムマネジメントを中心に、3市町村との官民一体で、観光客の受け入れ態勢整備に取り組む事業を実施している。
②予算要求の半減や、抜本的見直しの評価結果を受けたが、目的達成でき
問 国の「再仕分け」で、観光圏整備に代わる観光地域づくりプラットフォーム支援事業も抜本的見直しという結果である。
①観光圏整備の現況は。
②5年間予定の観光圏整備事業執行への影響は。
③着地型旅行を目指すリトリートの杜の現況は。
④リトリートの杜事業の今後の進めは。



ブルーベリー大好きツアー

るよう県と一体に、各地域の実状に即した柔軟な対応を国に要望している。
産業観光部長 ③観光圏事業の目標は、リトリートの杜事業が目指すものと合致しているが、予想以上の景気低迷で、当初の目的である着地型旅行の推進が厳しい状況だ。
④観光客は日帰り型が多い。経済波及には滞在型観光への移行が重要で、旅行商品の開発や集客事業の委託など行い、自立支援を考えていきたい。

小淵沢駅舎の改築 駅前広場整備は



中山 宏樹
(北杜クラブ)

問 計画整備は、平成7

年に旧小淵沢商工会で行われた駅前商業活性化事業のころから検討され、15年が経過する。施設の老朽化や送迎車の増加により、駅前広場の狭さやバリアフリーの対応など時代にそぐわないことがたくさんある。

①基本構想・市民協議会メンバーの目的・役割は。
②駅舎位置・形状、観光案内所は駅舎内か。
③駅前広場のバス・タクシー乗り場、駐車場は。また駅の地盤は下げられるか。

高原をイメージした 駅をコンセプトに

建設部長 「高原をイメージした駅」が地域性からもふさわしい。



混雑する駅前ロータリー

①市民協議会のメンバーは小淵沢町から4人、ほか計12人構成。駅舎位置・駅前広場レイアウト等市民意見を反映。バリアフリー対策としてエレベーターを予定。

②市民協議会で意見を聞いている。駅利用者、地元商店街等を考慮しながら検討していく。観光案内所は駅舎内配置を計画する予定。

③観光シーズンは大変混雑する。駅前ロータリー計画は、大型バスも含め地盤についても検討する。

子育て支援策は



保坂多枝子
(明政クラブ)

問 国では幼保一元化が検討されているが、本市には幼稚園がない。

①保育園入園児の母親が、産休や育休を取得すると入園資格に欠け、せっかく慣れた保育園に通園できない状況だ。実情に応じ市でも対応しているが継続できないか。

②「つどいの広場」の内容は。また、その連携と職員の研修体制は。
③森のようちえんのように、現在、自主運営している所の活用は。

就学前の園児は 継続入園を検討

福祉部長 ①産休や育休中の入園は、母親の出産月と、前後2カ月間の入園は可能。育休中は事情がある以外、家庭で保育

ができると考えられ、つどいの広場事業やファミリーサポートセンター事業などの利用が原則。小学校への就学が間近など、園児の環境変化に留意する必要がある場合、他自治体を参考に継続入園を検討。



おやつづくり

②つどいの広場事業は、0から3歳までの未就園児と保護者が集い、交流や相談などを行う。市内4カ所で開催。1日平均11・2組が利用し250組が登録。どこでも利用ができ、研修は年一回実施。③国の新システムのなかで検討。

八ヶ岳観光圏の地域連携は



秋山 九一
(明政クラブ)

問 北杜市・長野県富士見町・原村が八ヶ岳観光圏として国から認定され、八ヶ岳観光整備推進協議会も構成された。清里・小淵沢などの八ヶ岳南麓の観光活性化に積極的に取り組む必要がある。

富士見町・原村と交流を深める上で、現在のアクセス道路状況問題など、どのように働きかけや取り組みを行い推進していくのか。計画等について市の考えは。

懸案事項調査し 施策対応する

市長 認定で観光資源・交通移動・案内・情報提供などのレベルアップを図る地域の取り組みに、国の財政的支援を受けられるようになった。

広域連携・交流を進める上で、アクセス道路の整備などの社会資本整備は、自由度の高い社会資本整備総合交付金を交付する制度が創設された。

観光圏で広域的に取り組むため、国・県・構成市町村がメンバーとなった「八ヶ岳観光圏社会資本整備連絡会議」を設立し、懸案事項の整理・調査を行っており、施策を連携・対応していく。



八ヶ岳南麓の活性化を

一般質問



安全な遊具で楽しく

問 合計特殊出生率は1・19で少子化が進み、外で遊ぶ子どもは少ない。小中学校・公園・児童館等に遊具を設置すれば、体力・知力・仲間づくりや道徳教育の一環にも役立つ。また、通学途中、公園・児童館で事故が多発している。事故の未然防止も重要だ。

①公園・児童館・保育園等の遊具設置数は、
②遊具の保守・点検等の状況は、
③魅力ある遊具の設置は、



坂本 治年
(明政クラブ)

施設の遊具・通学路の安全対策は

④保育園・学校の監視カメラの設置状況は、
⑤通学路の安全対策は、

通学路の安全確保 防犯活動を実施

教育長 ②安全基準に合致するか、点検業者・学校管理者・教育委員会などで定期点検を実施。

④3中学校の正面玄関、市内15カ所の公立保育園に設置。

⑤子どもたちの見回り・防犯パトロールを学校と連携し、安全確保に取り組む。

福祉部長 ①施設に付帯する公園での設置は7施設、遊具数は59。15カ所の公立保育園に218、8カ所の児童館・つどいの広場に27の遊具を設置。

③保育園・児童館では昨年度、交付金を活用し、室外遊具を導入した。



相吉 正一
(明政クラブ)

公共施設の統廃合に伴う有効活用は

問 廃止予定の各公共施設の活用計画策定と、統一した基準づくりが必要だ。庁内の検討状況は、

検討会を設置する

市長 関係部署と連携し、管財課を中心に全庁的な連携を図る検討会の設置を準備している。

新しい公共の在り方は

問 行政と行政区の連携・協働が不可欠だ。新しい公共の在り方をどのように考えているか。

協働の心で人・地域との絆づくりを図る

総務部長 市民・企業・NPO法人と協働し、教育や子育て、介護や福祉などの問題解決を図る。

市民を対象にした提案制度の募集は

問 市民から広く情報を求め、広聴面の充実を。

市民の声を大切にしたい

政策秘書課長 市長への手紙は、本庁・総合支所への郵送と、ホームページからの投稿が可能。情報や提言をいただけるよう、周知に努める。



地域の施設として活用を

山梨県後期高齢者医療広域連合議会報告

10月22日に第2回定例会が開催されました。

同意1件、承認3件、認定2件、条例1件、補正予算2件について審議し、原案のとおり同意・承認・可決されました。

峡北広域行政事務組合議会報告

10月26日に第2回定例会が開催されました。

報告1件、条例1件、認定5件、補正予算5件について審議し、原案のとおり認定・可決されました。

視察研修

～全国市議会議長会 研究フォーラムin大分～

前衆議院議長河野洋平氏の基調講演のあと、パネルディスカッション・課題討議が行われ、コーディネーターやパネリストから、具体的事例の報告、意見発表などがあった。

■ 地方議会のあり方

一定数・報酬はどうあるべきかー

明治大学政治経済学部教授 中邨章氏からは、住民の議員活動についての理解不足や、議員活動の多様性などについての意見、日本経済新聞社論説委員谷隆徳氏による、日当制報酬の福島県矢祭町、成果報酬の熊本県五木村などの事例発表が行われた。

〈意見・感想〉

○削減を前提とした定数・報酬の議論は軽率であり、市民の声を代弁し、市民の要望を実現するためにはどのような議員活動を行うべきか等、多角的な論議が必要だと感じた。

※参加した全議員が報告書を提出しました。
意見・感想はその中からの抜粋です。

■ 政治倫理条例について

杉本成一かほく市議会議長、福井章司佐賀市議会議長から両市の政治倫理条例の内容、制定に至るまでの経過が発表された。

〈意見・感想〉

○「法はそれぞれの議員の胸の内にある。自ら律すべきこと」との報告者の弁は、納得できるものであった。

■ 議会の調査権について

川島やすゆき稲城市議会議長からは特定所管事務調査について、中島武津雄飯田市議会議長からは行政評価の取り組み（基本構想基本計画の進捗管理）について、それぞれ事例の発表が行われた。

〈意見・感想〉

○まずは私たち議員が、資質向上のために数々の実践・学習を行っていく必要性を感じた。

全国各地から北杜市を訪問

議会関係行政視察の状況（平成22年8月～12月）

月日	視察団体	人数	視察内容
8月 3日	島根県江津市議会・建設厚生委員会	9人	太陽光発電実証研究
8月 6日	静岡県掛川市議会	30人	
8月31日	埼玉県議会・産業労働企業委員会	17人	
10月 7日	埼玉県深谷市議会・市民環境産業委員会	10人	デマンドバス実証運行
	千葉県君津市議会・交通体系等調査特別委員会	14人	
10月12日	埼玉県秩父市議会・会派「彩政会」	7人	太陽光発電実証研究
10月15日	栃木県下野市議会・総務常任委員会	10人	
10月26日	栃木県足利市議会・建設防災常任委員会	8人	橋梁長寿命化計画
	群馬県富岡市議会・会派「一期会」	7人	太陽光発電実証研究・水力発電施設
10月27日	福島県三春町議会・経済建設常任委員会	8人	都市と農村の交流、リトリートの杜・地域おこし 協力隊・地産地消の取り組み
10月28日	千葉県市原市議会 圏央道（仮称）市原南IC開設に伴う南市原のまちづくりに関する調査特別委員会	15人	地域おこし協力隊支援事業
10月29日	長野県山形村議会・住民福祉常任委員会	8人	須玉保育園・子育て支援センター
11月 8日	岡山県備前市議会・会派「清友会」	4人	デマンドバス実証運行・観光振興
11月 9日	静岡県沼津市議会・会派「新政会」「エリア・自民」	10人	
11月10日	福島県いわき市議会・会派「政新会」	9人	太陽光発電実証研究
11月11日	三重県伊勢市議会・会派「明勢会」	4人	
11月26日	宮城県大崎市議会・建設常任委員会	9人	水道料金統一・合併浄化槽設置補助金
12月 7日	埼玉県滑川町議会・文教厚生常任委員会	9人	太陽光発電実証研究



2.4mの巨大な氷のリース

声のひろば

koe no hiroba

北杜市の自慢



杉浦 令章
長坂町

勤めている会社の関係で、神奈川県川崎市から山梨に来て17年になります。山梨に来て感じたことは、冬の寒さなどといったことも自然が豊かで素晴らしいことでした。特に自宅庭で国蝶オオムラサキを初めて見たときの感激は、今でも忘れられません。

最近特に気掛かりなことはその緑豊かな里山の林が開発により伐採され、急激に減少していることで、私の家の近辺では、来たときと比べ3分の1程度も失われていると思われまます。

里山林の代表的な生き物であるオオムラサキも、最近には目にするのがめっきり減ってきていると思われまます。

私たちの代で北杜市の自慢を失うことがないように、積極的な自然環境の保護と、自然と人間の共存を考えた計画的な開発で、今後も全国に誇れる北杜市であるように願います。

地域ぐるみで食育を



篠原 隆美
明野町

健康で豊かな食生活の実現や、食料生産など食育が進められています。

永井集落協定組合では、6年前から明野小5年生に米づくりを指導しており、種籾の播種、田植え、稲刈り、脱穀など一連の作業を体験学習します。

子どもたちは、泥まみれになりながら元氣よく米づくりにチャレンジし、12月に親子参加の収穫感謝祭が行われました。つきたてのモチを食べ、「自分たちが育てた米で作ったモチは本当においしい」「食べ残しをしないようにしたい」などの感想が発表され、作業体験により米づくりや食育への理解が深められたと安心しました。

食料・農業や食文化等、総合的な学習を必要とする食育は、学校教育だけでなく地域ぐるみの教育が大切だと思います。

車椅子ダンスってなに?!



油井 敏治
高根町

「障がい者なんて家にいれればいいじゃん」、私の心にぐさつと刺さった言葉です。本当にそれでよいのだろうか。共同参画やバリアフリーなどの会議がありますが、実際に耳にする声は、体裁を装った話にしか聞こえず、心の貧しさ、冷たさが寂しく心に刺さります。

目や耳が不自由な方や、立つことも座ることもできない方と車椅子ダンスを通じて知り合い、活動して10数年。今では、「また来てくれたの」「楽しかったよ」と練習日を待ち望んでいてくれます。

みんな、決して裕福ではありませんが、心温かく楽しんでいます。

「してあげられる幸せ」は、「してもらえる幸せ」より幸せで、尊いのではないかと思います。

「ありがとう」っていい言葉ですね。「車椅子ダンス」が北杜市でもできたらいいなと思います。

農業に魅せられて



渡邊 邦雄
白州町

62歳、定年退職してはや2年。仲間と家族に恵まれた会社人生でした。これから私に何ができるのか。結果、91歳の父と田畑を耕すことに至りました。土づくりから収穫まで、父から教えられることの多さに驚きつつ、この歳になって、と何やら幸せな気持ちで取り組んでいます。

昨年は、道の駅はくしゅうに作物を出荷するようになり、生き甲斐の道も開けました。

また、5年前に気まぐれで植えた数本の甲州柿に、実がつきました。出荷がますます楽しみです。

昨今、子どもの食育を耳にします。私は、孫に落ち穂ひろいをしながら、米の大切さを教えました。このような形で、孫たちの成長にかかわれるとは思いがけない喜びです。春、本格始動。活気ある60代になってきました。

北杜市ウォッチング

HOKUTOSHI WATCHING

ほくと議会だより Vol.25
HOKUTO GIKAI DAYORI



おいしいおそばは
ないまようは...



うまく書けたかな?

今年も
市民のために...



パッたん
パッたん



林で見つけた氷のリング

編集後記

皆様には、平成23年の輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。市政も7年目を迎え、課題である財政健全化も市民の協力のもと着実に改善されつつあります。

12月定例会の代表質問には、北杜市第2次行政改革大綱について多くの質疑がありました。国政においても地方分権の進展に伴い、交付税の在り方も変わります。

今後はさらに、行政と市民、そして議会が一体となり「元氣な北杜市のまちづくり」が重要となります。

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

■議会広報編集委員会

委員長 保坂多枝子
副委員長 中嶋 新 小須田 稔
委員 小尾 直知 千野 秀一
坂本 静 風間 利子
野中真理子 清水 進